

# 北陵 タイムズ

北諫早中学校だより No.23  
令和6年3月19日  
文責 校長 小川 太洋  
<http://www.kitaisahaya@isahaya-snet.ed.jp>

感動と友情が芽生える  
楽しい学校

## 第77回 卒業証書授与式 厳粛に挙行される

柔らかな春の日差しを受け、桜のつぼみも膨らみ始めた3月13日（水）、来賓・保護者の皆様の御臨席のもと、第77回卒業証書授与式を挙行了いたしました。

過去4年間は時間や規模・参加者等を制限したりする中での開催でしたが、今年度は一切制限がなく、祖父母の皆様も含めて卒業生の門出を祝うフル規格での開催となり、感動と涙の思い出に残る式典になりました。

卒業生の態度は立派そのものでした。卒業証書を手にした時の卒業生の顔は喜びにあふれ、希望に満ちていました。「立派に成長した姿を見てください！高校生になっても頑張ります！」と卒業生が示した姿だと考えます。保護者の皆様におかれましても、卒業証書授与式に臨むお子様の成長した姿を御覧になられて、感慨もひとしおだったのではないかと思います。

校長が式辞の中で、「変化の激しい時代。どんな困難にもくじけず、最後まで頑張る人、そんな人をこれからの社会は求めている。どんな逆境にもめげず、常に夢を大きく持ち、その夢に向かってたゆまぬ努力を続けていける人になってほしい」という話をしました。

その後在校生を代表して、荒木圭太さんが「送辞」を述べました。「卒業後不安も多いかもかもしれないが、自分を信じて、明るく力強く進んでください」と力強くエールを送りました。

最後に卒業生を代表して、吉田晴翔さんが



卒業証書授与

「答辞」を述べました。3年間の思い出を振り返りながら、友人、後輩、教師、保護者への感謝の気持ちを綴り、「立派な高校生、そして大人へと更なる成長を遂げたい」という旨の決意を残しました。

その後、卒業生が歌う「群青」と共に式の雰囲気も最高潮に。3年間の思いが詰まった卒業生の目には涙がたまってました。最後に拍手とともに、在校生・職員・保護者・来賓に祝福されながら卒業生が巣立っていきました。

義務教育を終えた卒業生は、引き続き高校でもたくましく成長していきます。今後も温かく支え、見守っていただきますようお願いいたします。

## がんばれ！ 川下晃汰 先輩

第96回選抜高等学校野球大会が18日に始まりました。本校の卒業生である川下晃汰さん（高2）が、神村学園高校（鹿児島）の主将として出場します。早速応援ポスターを作り校長室前に掲示しているのですが、予想以上の反響があり、立ち止まって見ていく生徒が多いのです。それだけ子供たちの関心も高いといえます。初戦の相手は作新学院（栃木）で22日（金）9時プレーボールです。頑張ってください。



反響が大きかったポスター

## 離任式のお知らせ

今回の人事異動で本校を離れる先生方（補助員等含む）が13名います。次のとおり離任式を行いますことを卒業生にお知らせします。

- ・期日：3月22日（金）
- ・時間：10時45分～11時30分
- ・留意事項：本校の校則に準じて制服にて参加してください。また、案内があるまではピロティにて待機していただきます。